

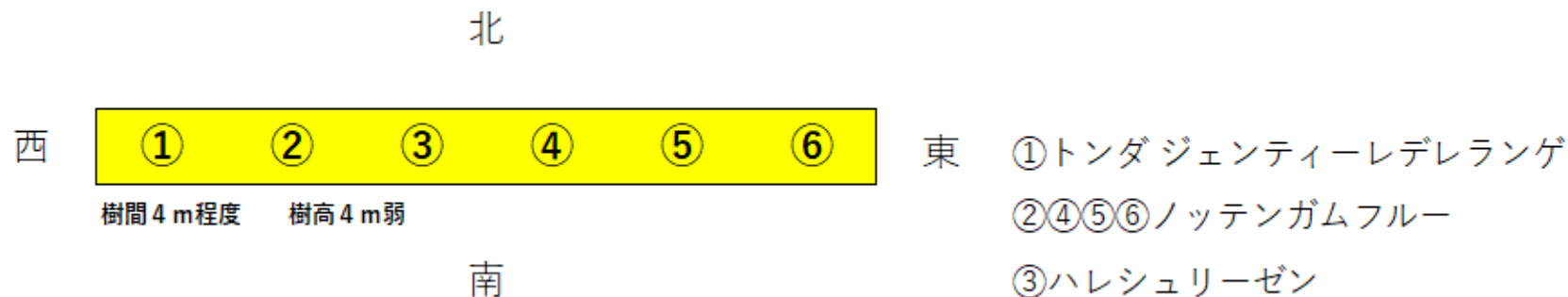
長野市内のヘーゼルナッツ栽培事例①（令和7年11月現地確認）

市内において、3品種混植による栽培事例があったため紹介する。

○栽培等の状況（栽培者からの聞き取りによるもの）

- ・栽培本数 6本
- ・品種 (1)ノッテンガムフルー 4本（植付 2022年4月）
(2)ハレシュリーゼン 1本（植付 2022年4月）
(3)トンダジェンティーレ デレ ランゲ 1本
(植付：2023年4月、他より1年遅れ)
- ・収穫量 約5kg（殻剥き後 約1.9kg）
- ・収穫方法 落果した実を手作業で拾う。（一人で作業。2～3日に一度ほ場を確認）
- ・殻剥方法 外部委託（受託者は機械にて加工。）
- ・出荷先 自家消費
- ・概要 桃農家が果樹園（桃）の空きスペースにて栽培。植付後3年5カ月で結実。剪定は未実施。施肥については既存の桃果樹園内のため行わなかった。

○品種ごとの配置状況イメージ図



○品種特徴（苗木販売事業者HP等を参考）

(1)ノッテンガムフルー 主にドイツで栽培されている品種。早生種（成木化までの期間が他のヘーゼルナッツに比べ短い）として紹介されている。本市の試験栽培ほ場（2年目）においても雄花が一番多く着いている品種。

S遺伝子（S8、S10）、花粉遺伝子（S8）

(2)ハレシュリーゼン 主にドイツで栽培されている品種。開花時期はやや遅め。

S遺伝子（S5、S15）、花粉遺伝子（S5、S15）

(3)トンダジェンティーレ デレ ランゲ 主にイタリアで栽培されている。S遺伝子

（S2、S7）、花粉遺伝子（S7）

*それぞれの雄花、雌花の開花順番については今後も継続して調査確認。

同ほ場の定植状況（手前がランゲ）

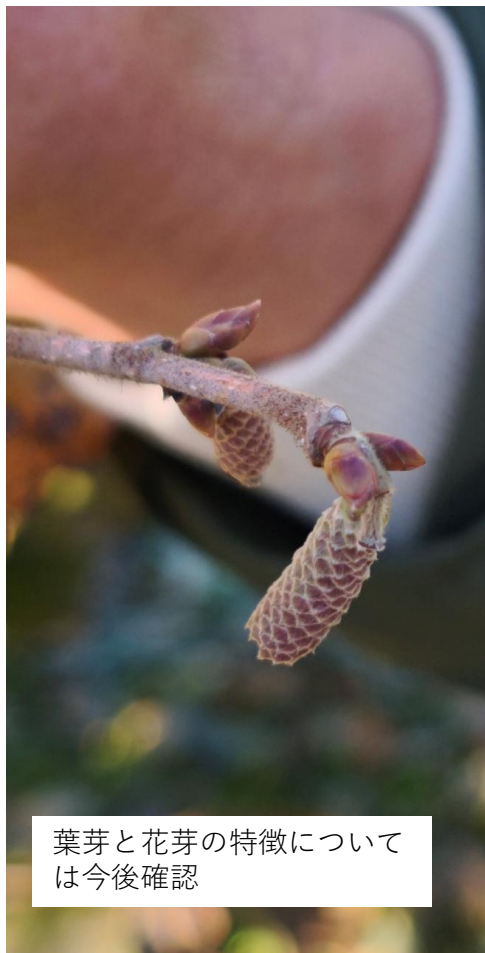


同ほ場のヘーゼルナッツ（落果前）

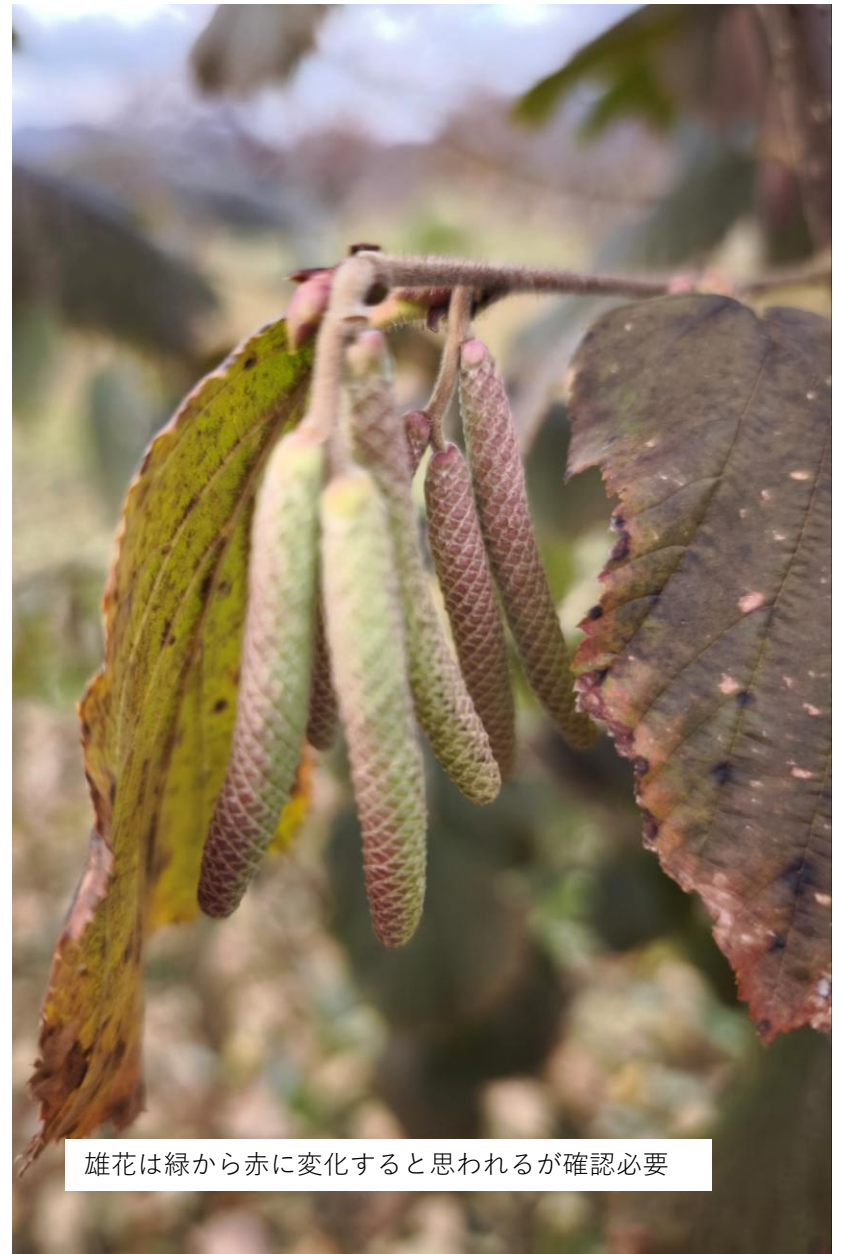


○ノッテングムフルー①

- ・雄花の長さ4.5cm程度
- ・一本仕立て、樹高4 m弱程度。
- ・幹の太さ直径6.3cm * 6.2cm 程度
- ・生育状態良好。雄花が赤い（この品種固有の特徴なのか不明）、長さは同ほ場では二番目。また、雄花の数自体も多い。



○ノッテングムフルー②



○ハレシュリーゼン

- ・雄花の長さ9.5cm程度
- ・一本仕立て、樹高4 m弱程度
- ・幹の太さ直径7.5cm * 8.5cm 程度
- ・同ほ場中で、他の品種に比べ雄花が一番長い。また、雄花の数自体も多い。



○トンダジェンティーレ デレ ランゲ

- ・雄花の長さ2.3cm程度
- ・ブッシュ仕立て
- ・幹の太さ直径2.8cm * 2.8cm 程度
- ・同ほ場の他の品種に比べ、定植が1年遅れのためか樹高、雄花の長さ共に一番小さい。また、雄花の数自体も少ない。



○その他 参考写真

参考：長野市農業研修センター内栽培のノッテンガムフルー全景（令和6年植付）



参考：長野市農業研修センター内栽培のノッテンガムフルーの雄花
令和7年11月中旬撮影

参考：長野市農業研修センター内栽培のノッテンガムフルーの雄花 雄花変色（令和7年12月下旬撮影）

